

新基地建設反対名護共同センターニュース

翁長県政を応援！辺野古新基地ストップ！誇りある豊かな沖縄へ！ 「沖縄連帯のつどい」に1000人の熱気

全国革新懇などは3日、「沖縄連帯のつどい」を宜野湾市内で開催、約1000人が参加。元那覇市議会議長金城徹氏、金秀グループ呉屋守将会長、赤嶺政賢氏などオール沖縄の国会議員が挨拶。土木技師の北上田毅氏が工事の現状を報告。ヘリ基地反対協安次富浩共同代表、二見以北住民の会松田藤子会長、高江住民の会伊佐真次東村議が現場のたたかいを報告しました。日本共産党の志位和夫委員長が「安倍政権の卑劣な攻撃を跳ね返し『オール沖縄』の結束を発展させよう」と呼びかけました。翁長雄志知事、城間幹子那覇市長、玉城デニ―衆院議員からメッセージが寄せられました。



翁長県政を守り、発展させよう！



北上田毅氏



志位和夫氏



呉屋守将氏



金城徹氏

- 金城徹氏「保守も革新も政治に無関心の人も今こそ立場を超えて団結し、新基地はいらないとの意思を明確に示そう」。
- 呉屋守将氏「現場のたたかいの延長が県民投票。県民投票で圧倒的な反対の声でSNSにあふれるデマを吹き飛ばそう」。
- 志位和夫委員長「11月の知事選で翁長県政を守り抜き、発展させれば新基地は止められる。県民投票は県民の不屈のたたかいを前進させるうえで積極的な意義を持つ。協力すると決めたからにはこの運動にとことん力を尽くします」。
- 北上田毅氏「軟弱地盤などで防衛局は八方ふさがりだ。知事選で翁長さんが勝てば、新基地建設は必ず頓挫する」。



稲嶺進前名護市長はゲート前で「私たちのたたかいは全国各地で連帯が急速に広がっている」と報告しました。

本土からの参加者130人
 学習交流会とゲート前集会へ
 「沖縄連帯のつどい」に本土からの参加者のうち130人が1日、名護市内で「辺野古連帯行動学習交流会集会」を開催。稲嶺進前名護市長からの挨拶、県統一連・瀬長和男事務局長から現場の状況の説明を受けました。2日は、ゲート前集會に600人の県民とともに合流。県選出国會議員や稲嶺前名護市長などと共に「新基地は造らせない。翁長知事を支え、あきらめずたたかいます」と熱く決意を共有しました。



やんばる統一連が第10回総会 代表に仲本興真氏を選出

やんばる統一連は2日、第10回総会を名護民商で開催。辺野古新基地阻止に向け現場でのたたかいを強化し、翁長知事を支えぬことを確認しました。新代表に仲本興真氏、事務局長に比嘉末美名護民商事務局長を選出しました。



「つどい」参加者70人が抗議船に

「つどい」への本土からの参加者70人余は2日、辺野古漁港から抗議船3隻3往復に分乗。

辺野古の海から工事現場付近で「違法工事は直ちに中止せよ!」、「サンゴ礁を殺すな!」と抗議の声を上げました。

参加者は「現場に来なければ分からないことがある。この実感を本土で伝えたい」と話していました。赤嶺政賢衆院議員も乗船、抗議のマイクを握りました。

